

港区議会議員

区民相談は
お気軽に!

池田たけしNEWS

一人のために、地域のために

発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441
発行日：2024年8月13日 URL：https://ikeda-takeshi.net

令和6年港区議会第2回定例会

代表質問

港区小中一貫教育校について

Q 港区の全中学校10校の内、4校が一貫教育校となったが、今後の設置計画を伺う

A 今後の校舎整備に伴い保護者や地域の意見を丁寧に伺い、小中一貫教育校の設置を検討していく

Q 生涯学習の場、地域コミュニティ拠点、また避難所の視点も含め、築39年の区立青山中学校の一貫教育校化はどのように考えるか

A 敷地も広い環境であり幼少中一貫の更なる推進、公立校の魅力向上、生涯学習の場、地域防災拠点などの様々な視点から一貫校への検討を進めていく

糖尿病治療中断者への受診勧奨について

Q レセプトデータから治療中断に該当する区民を把握し、漏れなく医療につなげ健康状態の継続延伸を図り、併せて国保財政の健全化にも資する効果的な受診勧奨を行うべき

A 糖尿病治療中断者の治療再開に向けては積極的な介入が効果的であるため、受診勧奨の来年度実施に向けて検討し、周知啓発にも取り組みます

実績

南青山進入規制標識



南青山2丁目の行き止まり路に進入、何度も切り返して転回する車があり、進入路手前に注意喚起の標識設置を、との声にお応えして設置しました。

赤坂カーブミラー設置



赤坂6丁目勝海舟邸跡の丁字路は高低差があり、緩やかにカーブする道との交差で対向車が急に現れる相互に確認し難い場所、とのお声に応え設置しました。

南青山路面修復



交通量の多い道路で工事後の路面が荒れ、車が通過する度に段差を越える音と振動が響くため、緊急対応で路面の修復をいたしました。

赤坂の急坂に手すり設置



赤坂から青山へと抜け、街を結ぶ狭い急坂は車の通行も多く、高齢者の方から坂の通行に「手すり」を要望されるお声に応じて設置しました。

「みなとタバコルール」シール敷設



都営北青山1丁目アパートに隣接の公園は近隣住民やタクシー運転手の憩いの場。園内ベンチでの喫煙、吸い殻ポイ捨てがあることから「みなとタバコルール」の注意喚起シールを敷設しました。

南青山一步通行路速度抑制



南青山7丁目の狭い一方通行に、速度を落とさず進入する車を抑制するため路面標示と赤いラバーポールを設置しました。安全を第一に。

HPV(子宮頸がん)ワクチンの夜間無料の集団接種を行います。

HPVワクチンは対象者に公費での無料定期接種でしたが副反応の懸念から対象時期に接種を逃した方が多く、救済のための全額公費による「キャッチアップ接種」が行われています。

しかし、令和6年度末までが期限であるにもかかわらず、まだ接種未完了で夜間にしか接種を受けることができないなどの方に予防接種を受ける機会を提供し、ワクチンの接種率向上を図るため、保健所内での集団接種を実施することとしました。

区議会公明ではこれまで令和5年第3回定例会で、キャッチアップ接種の期限内に3回の接種を終えることができるよう、集中的なHPVワクチンの接種拡充を求めてきました。

・実施日時(期間を開けて3回接種します)

令和6年 8月26日(月)～8月30日(金) 5日間

10月28日(月)～11月1日(金) 5日間

令和7年 3月24日(月)～3月28日(金) 5日間

受付時間はいずれも17:00～20:30

・接種対象者

港区内に住民登録があり、HPVワクチンの接種が未完了の女性で、以下のいずれかに該当する方

・平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれ(17～27歳)のキャッチアップ対象者

・小学校6年生～高校1年生(12～16歳)の定期接種対象者

※港区以外の22区に住民登録がある女性も接種が可能です。



青少年対策地区委員会の予算配分是正と予算増額!

地域の子どもたちの健全育成をサポートするために結成された「青少年対策地区委員会」は港区に10地区あり、区は活動予算の一部を補助しております。

今までの予算の按分方法では、青少年人口ひとりあたりの予算額に大きな地域差が生まれてしまっていたため、令和6年第2回定例会などで、按分方法の是正を訴えてきました。

また、物価高騰によりバス代・食材費・施設代なども逼迫していることから、予算を増やすよう要望した結果、按分方法が是正され地域差が少なくなり、予算額においてもR5年度より2,211,000円増額となりました!

予算は行事に参加できる人数や、行事の内容に影響するので、子どもたちにより素晴らしい体験をしてもらうために最大限活用していただきたいと思っております。



ヤングケアラー支援ガイドライン作成は23区初!

公明党議員団は令和3年度予算特別委員会での質問を始めとし、ヤングケアラー支援について要望を重ねてきました。

区は令和4年度に行ったヤングケアラー実態調査の結果を踏まえ、早期の発見と理解促進を図るため、令和6年3月に学校、病院や警察などの地域の関係機関と協働し、23区初となる区独自のガイドラインを作成しました。

子どもたちを誰一人置き去りにしないために、これからもヤングケアラー支援に取り組んで参ります。



全国初! EV起震車「みなとゆらゆら号Ⅲ」導入

港区では現行起震車が導入から20年経過したため環境に配慮した完全電動化、電気駆動の起震車「みなとゆらゆら号Ⅲ」を全国初で導入、地域の防災訓練などで実災害に近い地震の揺れを疑似体験することで、区民の防災意識と災害に対する知識の向上を図ります。

バッテリーフル充電で

- ・最大213km走行可能
- ・約150回の起震稼働(3D方向に26種の地震を再現)が可能
- ・災害時に4,600Wh(スマートフォン300～400台分)の給電可能
- ・43型薄型ディスプレイにより震災現場の被災状況を再現

港区議会公明党は、2019年2月予算委員会、災害時における電動車からの電気供給は大変有用、と給電車導入を強く推進していました。



病児保育室の定員拡大と新規開設が決定!

病気の回復期等により、保育園での集団保育が困難な乳幼児を一時的に預かる病児保育室について、更なる定員拡大を、港区議会公明党は、昨年11月港区長への令和6年度予算要望などで訴えてきました。その結果、本年1月～「チャイルドケアばんびいに病児保育室」では定員が6名から8名に拡大。令和7年1月には、麻布十番に新たな病児保育室が開設されることになりました。

現在、病児保育室がない地域への設置や、保育園で急な発熱等の際、保護者に代わり看護師がタクシーで病児保育室に連れて行く送迎サービスなど、これからも更なる拡大を要望してまいります。



新型コロナワクチンの定期接種が無料に!

本年10月から65歳以上高齢者等は定期接種となる、新型コロナワクチン接種は、全国的には自己負担額が7,000円に。しかし、港区は無料接種とする補正予算案が、7月の港区議会定例会に提出され、可決成立。

港区議会公明党は、本年3月の港区議会予算委員会で、災害時に避難所等での新型コロナまん延防止などを目的に、無料接種の必要性を強く訴え、実現!



高齢者のエアコン設置等費用助成が増額!

港区は、高齢者のエアコン購入設置費用助成について、今年度より最大6万5千円から、7万7千円に引き上げ。

対象は、自宅にエアコンがない、又は故障により使用できるエアコンがない、高齢者のひとり暮らし又は65歳以上の高齢者のみで構成される、住民税非課税世帯です。

港区議会公明党は、昨年11月港区長への令和6年度予算要望などで、高齢者の熱中症対策を強く訴え、昨年12月の委員会では、物価高騰をふまえた、エアコン購入費用助成額の引上げを要望し、実現!

